

道徳だより

共に学び合い心豊かに夢と希望へ向かう 児童の育成

～考えを伝え合い 自他を認め合う場の工夫～

本校は、令和6年度～7年度の2年間、標題の研究テーマのもと、道徳教育の研究を進めてまいります。過去3年間は、校内研究で「自己肯定感の高い児童の育成」を研究主題に掲げ、主に学級活動を中心に研究実践に取り組んできました。R5学校アンケートでは、「自分には良いところがありますか」の質問に、88%の児童が肯定的な回答を示し、3年前と比べ22.3ポイント上昇し、「自己肯定感の高まり」が成果として表れています。一方で、「自分の思いや考えを言葉で伝えること」が課題としてあがりました。そこで、文部科学省道徳研究指定を受けたことを機に、道徳科の授業を中心に「考えを伝え合い、自他を認め合う場」を工夫し、授業改善と道徳教育の充実を図ることとしました。

児童同士が学び合う中で、自分の考えをもつとともに、互いの考えを尊重しながら議論し合える道徳授業を要に、教育活動と関連させた道徳教育を充実させていくことで、相手を思いやる心や認め合う人間関係を構築する力、よりよく生きる力の育成につながっていくと考えます。

今年度は、道徳科を中心とした授業改善に重きをおき、実践研究に取り組んでいきます。授業参観では、道徳の授業公開を予定しています。研究のなお一層の充実を図るためにも保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

校長：仲地 みゆき



道徳の授業では、道徳性を養うために、共通課題である4つの視点をもとに、22種類の内容項目を学習します。

A 自分自身に関すること

- ・正直、誠実
- ・節度、節制
- ・個性の伸長
- ・善悪の判断、自律、自由と責任
- ・希望と勇気、努力と強い意志
- ・真理の探究（高学年）



B 人との関わりに関すること

- ・感謝
 - ・礼儀
 - ・友情、信頼
 - ・親切、思いやり
 - ・相互理解、寛容
- (中、高学年)



C 集団や社会との関わりに関すること

- ・規則の尊重
- ・勤労、公共の精神
- ・国際理解、国際親善
- ・公正、公平、社会主義
- ・家族愛、家庭生活の充実
- ・よりよい学校生活、集団生活の充実
- ・伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度



D 生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- ・生命の尊さ
- ・自然愛護
- ・感動、畏敬の念
- ・よりよく生きる喜び（高学年）



校内研究 1学期 スケジュール

- 5月下旬 道徳教育に関するアンケート実施
- 6月5日（水）理論研修
八重山教育事務所主事要請
- 6月26日（水）研究授業
4年1組 桑江朝暉 教諭
教材「雨のバスでいりゅう所で」
内容項目：規則の尊重
- 7月26日（金）理論研修
畿央大学 島 恒生 教授
- 8月26日（月）全体研修
夏季研修 伝達会